

# アツ!! 地震

(第2号)

## まず火災の防止 落ち着いて情勢判断

前回は、大地震が起ったときの一般的な心得をおつたえしました。今回は火災の防止についてお知らせします。

### ◎平素の心得

① 火を使う場所の点検、整頓  
ガスコンロや、石油コンロのまわりに紙くす等燃えやすいものはありませんか?.....

② 消火器などはそろっていませんか。消火薬の有効期限は切れていませんか。またせっかく備えた消火器が使えなくては何の役にも立ちません。いつでも、だれでも使えるように訓練しましょう。

③ 灯油やベンジン、食用油など火のつきやすいものはきちんと安全な場所に保管しましょう。



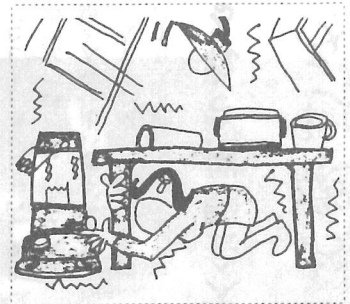
### ◎地震が起ったときの心得

① 落ち着いて情勢判断を。あわてて飛び出すと、窓ガラスの破片、看板、屋根がわからない

② 地震だと感じたなら、まず丈夫な机やベットなどの家具に身を寄せる。

③ 火の始末も落ちついて。地震の激しい振動は、おおむね一分以内で終わるものです。安全になったと感じたら、まず最初に火の始末をしましょう。流れ出た油類にはふとんや毛布をかけて着火を防ぎましょう。

④ 消火は最初の二分が大切  
石油器具類からの出火は、油火災用の消火器を使うか、なければ、バケツの水を燃えているストーブなどの上から、かぶせるように勢いよくかけて消しましょう。よゆうがあれば、ぬれたふとんや毛布をかけておきましょう。



災害は忘れた頃にやってくる

また、ガスは必ずボンベのバルブを締めましょう。

そのほか電気器具はスイッチを切るかコードの差込みを抜くことも忘れずに。  
天ぷらなどを揚げている油に火が入ったときは、まず、ガスなどの元せんを締めてから油用の消火器をつかうか、ぬれた大きな厚手の布をかけて消します。水をかけるとかえって火が広がる危険があります。

### 地震の震度階

震度	1	微震	静止している人や、特に地震に注意深い人だけに感じた程度の地震
	2	軽震	大ぜいの人々に感じる程度のもので戸障子がわずかに動くぐらいの地震
	3	弱震	家屋がゆれ、戸障子がガタガタと鳴動し、電灯のようなつり下げ物は相当にゆれ、器内の水面の動くのがわかる程度の地震
	4	中震	家屋の動揺が激しく、すわりの悪い花びんなどは倒れ、器内の水はあふれ出る、また歩いている人にも感じられ、多くの人々は戸外にとび出す程度の地震
	5	強震	壁に割目のはいり、墓石、石どうろうが倒れたり煙突、石垣などが破損する程度の地震
	6	烈震	家屋の倒壊が30%以下で山くずれが起き、地割れを生じ、多くの人々は立っていることができない程度の地震
	7	激震	家屋の倒壊が30%以上におよび、山くずれ、地割れ、断層などを生ずる地震